

授業科目名	フィールドワーク実習ⅣA	担当形態	実習		
		開講学期	秋学期		
担当教員	長江 朱夏	単位	1	年次	3

### ＝授業のテーマ及び到達目標＝

- 音楽療法士の仕事として必要となる実践スキルを学ぶ：音楽療法セッションに向けての計画、準備、実施を实际的に学ぶ
- 臨床上の段階的な流れや活動の構成要素について、理論と実践を統合させて学ぶ
- 目標設定やセッションの記録方法（ログ）、まとめや評価などについて実践的に学ぶ
- 対象者理解を深め、ニーズに合った関わり方を实际的に学ぶ
- 臨床現場でのセッションを想定したロールプレイの活用法について学ぶ

### ＝履修の条件と学習の方法＝

1年～2年において、音楽療法関連科目を学び、音楽療法総論Ⅰ、Ⅱと、音楽療法各論Ⅰ～Ⅲ、音楽療法の技能Ⅰ～Ⅲが終了していること。体調管理に留意すること。必要に応じ、書籍や文献による学習も行う。

クラスは、グループ担当制とする。各自担当セッションには、活動のアイデアと大まかな構成素材をチームと共有し、準備・打ち合わせをして臨む。やむを得ずセッションを欠席する場合は、講師とリーダーへ事前に連絡すること。また、翌回のセッションまでに、チームからの情報収集を行うこと。

### ＝授業の概要＝

音楽療法総論Ⅰ、Ⅱ、音楽療法各論Ⅰ、音楽療法の技能Ⅰなどのクラスで習得した知識を、具体的な臨床実践へとつなぐ為の実践型の学びを行う。

本実習においては、4年生はメインセラピスト、3年生はアシスタントの役割を基本として進められるが、クラスメイトはチームとなって、セッション準備、実施、振り返りを行うこと。

### ＝授業計画＝

- 1回 ガイダンス：授業の内容などの説明。対象者を想定したロールプレイ。
- 2回 大学での講義
- 3回 施設オリエンテーション（現地）、グループと担当分け
- 4回 セッションの流れの想定と内訳 ※以下、状況により臨機応変に対応  
セッション①対象者のニーズを見極める、目標設定
- 5回 セッション②対象者のニーズを見極める、目標設定
- 6回 セッション③計画した内容の実施と振り返り
- 7回 セッション④計画した内容の実施と振り返り
- 8回 大学での講義および個別フィードバック
- 9回 セッション⑤計画した内容の実施と振り返り
- 10回 セッション⑥計画した内容の実施と振り返り
- 11回 セッション⑦集結に向けて
- 12回 大学での講義および個別フィードバック
- 13回 セッション⑧終結に向けて
- 14回 セッション⑩終結に向けて
- 15回 まとめと感想

## **=テキスト（必携）=**

書籍名：ミュージックセラピーハンドブック  
著者名：ハンサー（著）、長坂希望（訳）  
出版社：エー・ティー・エヌ

その他必要な資料は授業内で配布する。

## **=参考書・参考資料（必携）=**

※購入の必要はない

著書名：「みんなで楽しく音楽を」  
著作者：メルセデス・パブリチェビック（著）、よしだじゅんこ（訳）  
出版社：音楽之友社

他、授業内で適宜紹介していく

## **=成績評価の方法と評価の基準=**

- 1 出席点（出席5点、欠席0点、無断欠席－5点）で総合成績の30%とする。やむを得ず欠席する場合は、担当教員とグループメンバーへ必ず事前連絡すること。また欠席したセッションは後日チームとフォローアップをすること。
- 2 自己目標を毎セッション立て、達成度について5～1点で段階的に評価。合計を成績の10%に反映する。
- 3 チームワーク／担当を責任持って遂行する能力（優 2点 良 0点 劣－2点）で評価し、その合計を成績の10%に反映する。
- 4 担当セッションの内容（15点満点）：計画、準備、実施を総合的に10点満点で評価。自身で目標設定も行い、これについても自己評価点（5点満点）をつける。
- 5 ログの提出（毎セッション）は、内容を5点満点で評価。実習の最後に行う全体のまとめは、内容を10点満点で評価。フィールドワークの学びについての感想を提出し、内容を5点満点で評価。全ての提出物は期限に遅れると1日につき－1点となる。合計を成績の35%に反映する。

## **=その他=**